

# はじめに

新潟市の中心市街地を貫流し、背後に都市機能が集中する信濃川本川下流※区間は、流下能力の不足や昭和39年新潟地震の災害復旧事業として施工された護岸の老朽化など課題がありました。

そのため昭和58年度に試験施工に着手し、昭和62年度から本川下流改修事業を本格的に着手しました。

洪水による被害を防ぐことに加え、豊かな水辺環境の創出に配慮した5割勾配の緩やかな斜面をもつ堤防整備に全国で初めて取り組みました。また、平成23年度からは、東日本大震を契機として、地震・津波対策事業に着手し、地震による液状化で堤防が沈下・崩壊した後、遡上した津波による市街地への浸水被害を防止するため、堤防を壊れにくくする対策を実施し、平成27年度に事業が完成しました。

本川下流改修事業で整備された堤防は、「やすらぎ堤」の名称で市民に親しまれ、中心市街地の貴重な水辺空間として多くの人々に利用されています。



## ※本川下流とは…

信濃川のうち関屋分水路との分派点にある「信濃川水門」から河口まで「本川下流」とよんでいます。「やすらぎ堤」は萬代橋から信濃川水門の間で整備しています。



# やすらぎ堤によって洪水や津波から街が守られ市民が水辺に集うようになりました。

(昭和62年撮影)



施工前

(平成27年4月撮影)



施工後

